

# 菱沼海岸緑自治会 自主防災マニュアル

2021年3月 第1版

## 目次

1	自主防災組織	2～3
2	地域のリスク	4～7
3	平時のそなえ	8～9
4	有事の活動	10～17
5	防災マップ	18～19
6	正確な情報	20
7	今後の課題	21
8	巻末資料	22～23
9	MEMO／覚え書き	24～25
10	非常持ち出しリスト	26

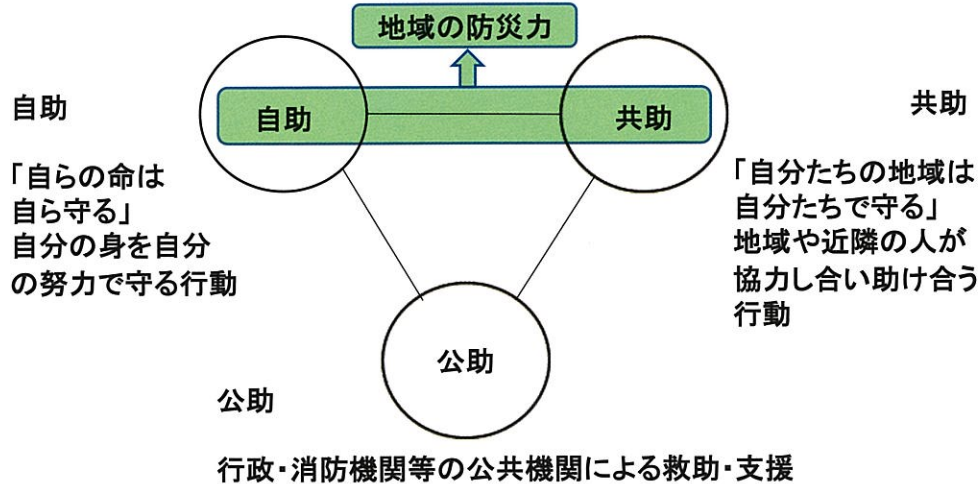
防災理念

災害時に「人が死なないための取り組み」

組織的に役割分担して 効率的・効果的活動  
を行うことにより「減災」する

本マニュアルは そのためのルールを作ること

減災活動の主体



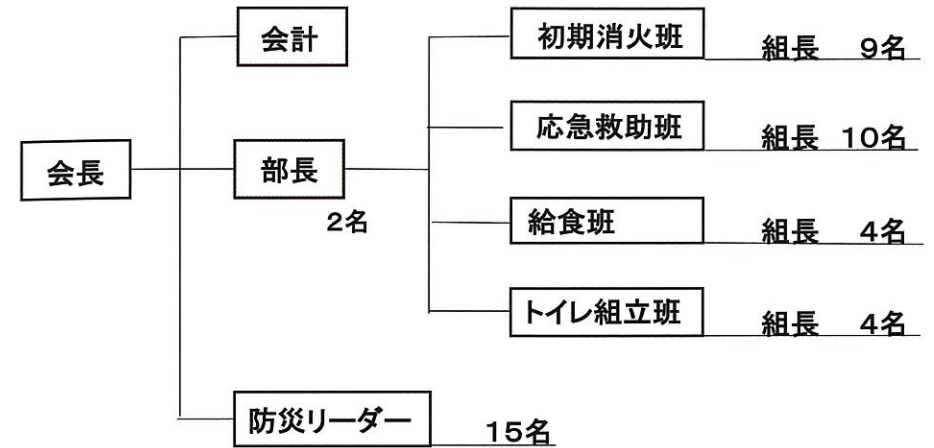
「減災」への取り組み  
災害が発生しても その被害を最小限におさえるために！

本マニュアルにおける行動指針は、基本的な考えを示すものです。  
予測のつかない有事の状況においては、自己判断に基づく自助行動が  
自らを守り、家族を守ります。そしてその事が共助につながります。

いつか必ずくるであろう大災害に 今、備えよう

自主防災組織図

みんなで作ろう安全な地域を



前年三役は特別委員 前年組長は防災副組長

自主防災組織の役割

平時	有事
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域での予防活動</li> <li>○ 防災知識の普及・啓発</li> <li>○ 防災訓練の実施</li> <li>○ 防災用資機材の整備・点検</li> <li>○ 関係機関との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報の収集</li> <li>○ 初期消火活動</li> <li>○ 救助・救出・応急救護</li> <li>○ 安否確認・避難誘導</li> <li>○ 要支援者避難支援</li> <li>○ 避難所の開設および運営</li> </ul>
<p>地域の危険性や家庭内での安全点検、地域の特性にあった防災訓練の実施など日頃からの大規模災害に備えるための活動</p>	<p>災害発生時に地域や地域住民を守り 被害の拡大を防止するための活動</p>

「自主防災組織は、この地域に迫りくる大災害リスクに対応し減災を目指します」

地震による死のリスク

私たちの地域には、以下のようなリスクがあります。正しい知識を学び正しく恐れましょう



**家屋倒壊・家具転倒による圧死傷(5ページ参照)**  
 阪神淡路大震災では  
 家屋倒壊による圧死者 4400人



**火災クラスター発生による焼死(6ページ参照)**  
 関東大震災では  
 死者・行方不明者 100000人



**津波による水死(7ページ参照)**  
 東日本大震災では  
 死者 18493人 行方不明者 2683人

地震で死なないためには、地域で起こりうる災害のリスクを正しく具体的にイメージし、そのリスクへの対処方法と回避方法を考えて防災活動に取り組むことが重要です。

天サイ！まなぶくん 茅ヶ崎版 (新しい防災アプリ)

「天サイまなぶくん」は、スマホ等の端末で撮った画像に、茅ヶ崎市の防災情報を重ね合わせて表示できるアプリで、疑似体験が可能です。体験してみましょう。



スマホで撮った写真に、この位置での津波ハザードマップ情報を合成し津波被害状況を表現した実例です。

現在利用できる茅ヶ崎市の防災情報は  
 ・津波ハザードマップ ・津波一時退避場所の位置  
 ・地震による地域危険度測定調査 平成25年度 検証結果  
 ・液状化ハザードマップ です。

iOS対応端末の場合は App Storeにアクセスし「天サイまなぶくん茅ヶ崎版」を検索していただき、ダウンロードしてご利用ください。  
 Android対応端末の場合は Playストアにアクセスし「天サイまなぶくん茅ヶ崎版」を検索していただき、ダウンロードしてご利用ください。

その他のリスク

台風による強風被害。当自治会では水害の可能性は低い。  
 富士山の噴火。可能性は低いが想定被害は甚大。

家屋倒壊・家具転倒

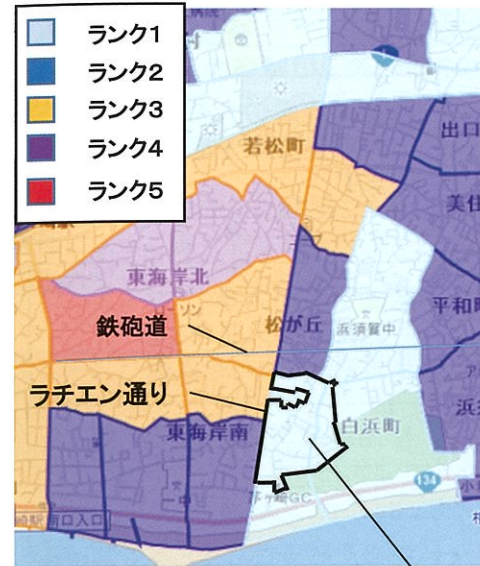
阪神大震災では4400人中  
 3860人が生き埋め即死  
 (助ける暇がない)

事前のそなえが生死を決めた

家屋の耐震化  
 (補助金利用ですこしでも)

負傷者の大半は家具とガラス

家具の固定と  
 ガラスの飛散防止



家屋倒壊危険度マップ 緑自治会(当自治会は比較的倒壊率は低い)  
 (上記ランクとは、1haあたり想定倒壊戸数を5段階に相対評価したものです)

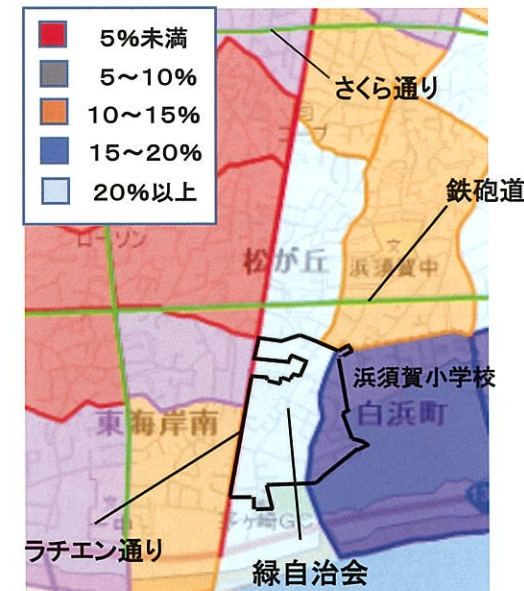
道路閉塞(倒壊と液状化)

緑自治会の全ての範囲が液状化可能性のある地域です。

- ラチエン通りは道路幅が2m以下になる確率が80%以上 鉄砲道は20%未満
- 自治会内部の通過確率(歩行者 2m幅以内)は20%以上ないし15~20%です

消防活動や避難行動に支障をきたす恐れがあります

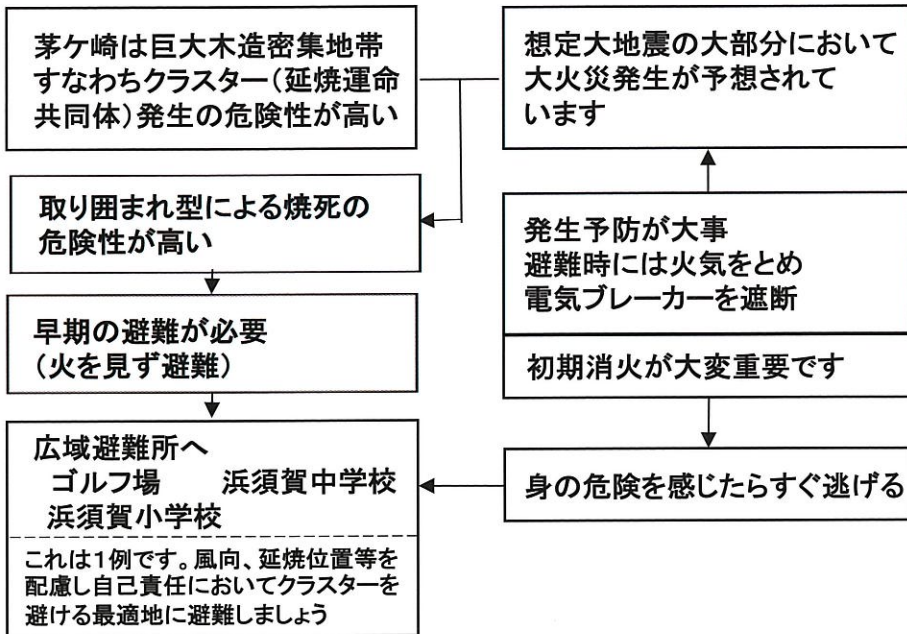
通過確率5%とは、95%の道路が幅2m以下になる部分があり、通行の支障になるということです。



地区内通過確率(歩行者2m)マップ

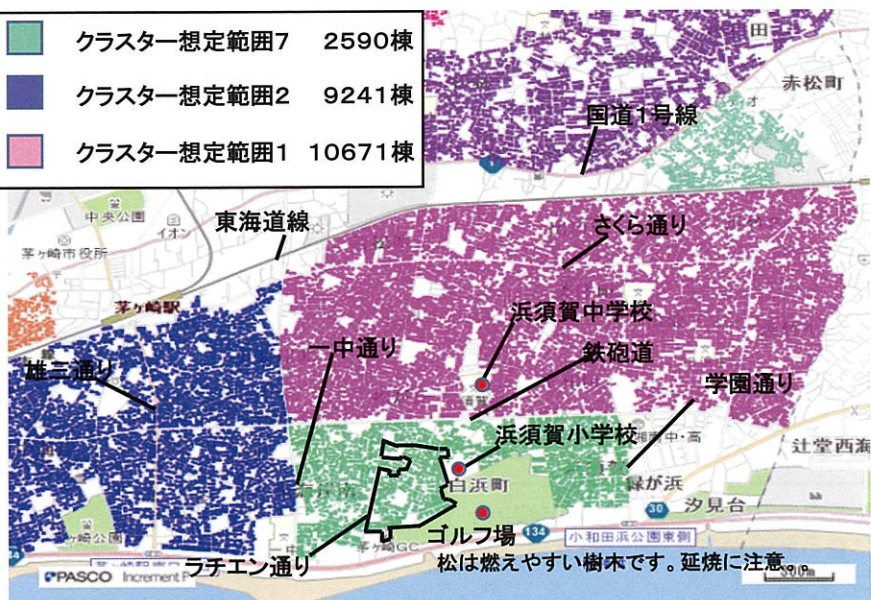
火災

死傷者の大半は火災に起因



当自治会は、クラスター想定範囲7に属し、北は鉄砲道、西は一中通り、東は学園通りによって延焼が食い止められる想定です。

- クラスター想定範囲7 2590棟
- クラスター想定範囲2 9241棟
- クラスター想定範囲1 10671棟

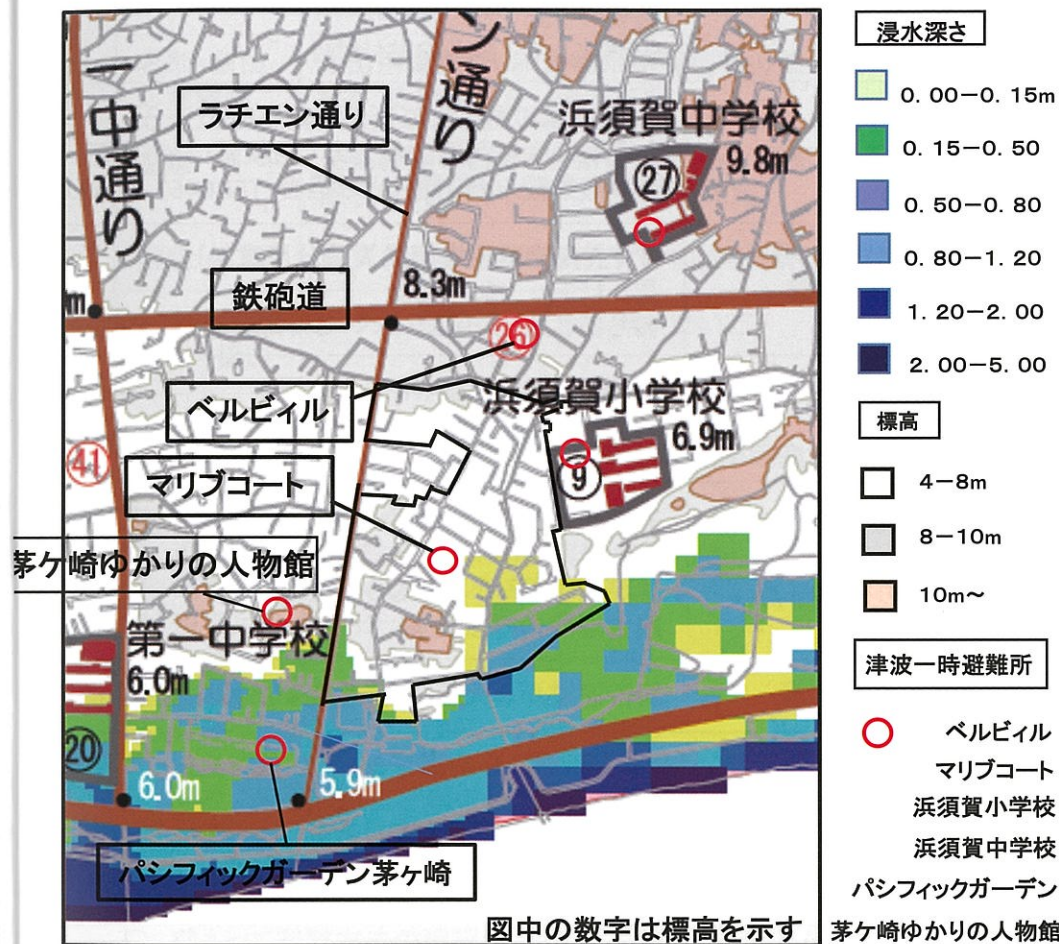


津波

茅ヶ崎に襲来が想定される津波を知ろう

東日本大震災の教訓から茅ヶ崎市のハザードマップも見直されました。より古くまで記録をさかのぼると同時に津波堆積物の調査等の科学的検討を加えられ以下のようなハザードマップになりました。

同じ地震から発生した津波でもその、被害や影響は到達する地域の地形や条件によって様々です。浸水深さ2mで家屋は浮かび流されるといいますが、このハザードマップによりますと、当自治会では、最大0.5~0.8mです。



本津波ハザードマップは「慶長型」「南関東」「元禄型」「神縄国府津松田断層帯連動地震」の浸水エリアを合成したものです

**自助努力**

災害による被害を最小にするために平時の**自助努力**が必要です

(A) 家庭での防災対策

耐震診断 耐震補強	補助金制度を利用して少しでも改善しよう 相談窓口:市役所 建築指導課 建築安全担当 TEL 0467-82-1111(内)2513
家具の転倒 落下防止	家具・大型電気製品(冷蔵庫・テレビ等)の固定 高いところに物を置かない
窓ガラスの 飛散防止	強化ガラス 飛散防止フィルムの貼り付け
ブロック塀の 点検・改善	ブロック塀のある家の責任で実施しましょう 生垣助成金を利用しましょう 相談窓口:市役所 都市部景観みどり課みどり担当:TEL 0467-82-1111
非常用持ち出し品 防災用品の準備	すぐ持ち出せる場所に人数分用意 男 15kg 女 10kg 持ち出し品リストは26ページ(背表紙)に記載
食糧・水の準備	7日分の自活目標(H25年変更)
火災警報器・家庭用消火器の準備	
感震ブレーカーの設置	通電火災防止に有効
家庭内の役割分担	誰が何をするかを前もって決めておく 集合場所の事前協議
ペットの防災対策	同行避難がふえてくる可能性がある

(B) 防災訓練への積極的参加

防災訓練には、右ページのような種類があります。  
命と財産を守る訓練を！

(C) 防災情報入手手段の確認

20ページ(正確な情報)を参考に、あらかじめ防災情報の入手手段を  
決めておきましょう

**共助努力**

災害による被害を最小にするために平時の**共助努力**が必要です

(A) 防災訓練(効果的な訓練は命を守ることに繋がります)

防災訓練には以下のような種類があります

安否確認	
情報伝達	
消火	初期消火能力向上/移動式ホース格納箱の操作方法 消火栓、消火器の位置確認
救助・救出 応急救護	救出用資機材、救急救出用資機材の使用方法 AED、心肺蘇生法、搬送方法
避難	避難経路の確認 非常持ち出し品 電気ブレーカー切断 服装等具体的イメージを持って実施
給食・給水	防災倉庫や避難所備え付けの資材を利用
防災用資機 材取り扱い	トイレ 発電機 投光器等の使い方
避難所運営	学校職員 配備職員ともに避難所運営マニュアル確認

(B) 防災資機材の整備・点検

- 資機材がいつでも使えるように定期点検
- 地域住民が広く使えるように使用方法の周知徹底を図る
- 過不足の点検・チェック

(C) 関連機関との連携

- 消防団: 訓練指導やアドバイスを受ける
- 民生委員・社会福祉協議会: 要支援者情報、専門的な人材の把握
- 学校: 避難所運営手順の確認、防災教育の実施

(D) 要支援者対策

- 名簿の確認
- 前もって避難方法の確認
- 組を単位とする「近所の日頃の声かけ」が大事です

(E) 災害ボランティアとの連携

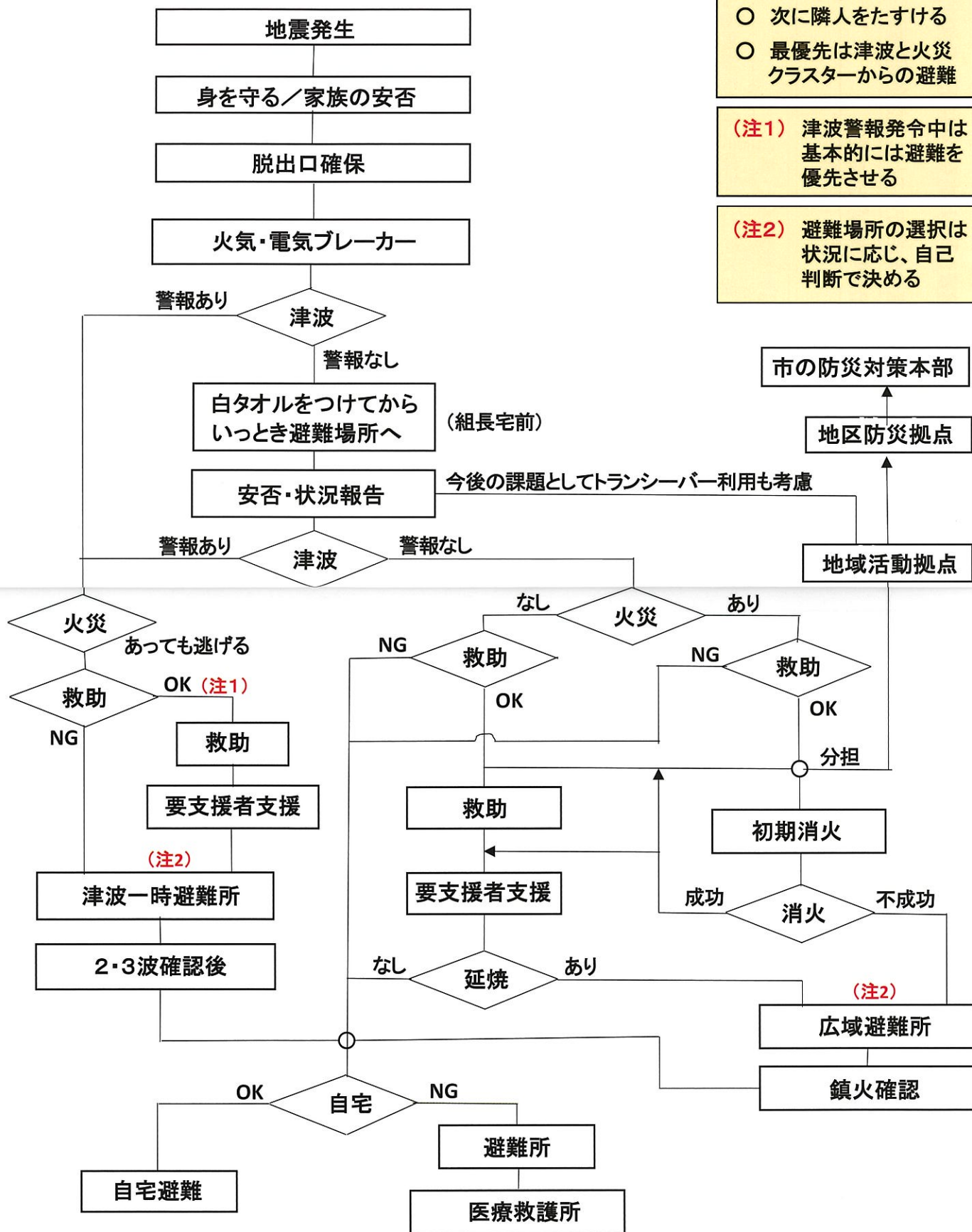
有事(地震発生)の行動と減災活動

判断基準

- まず自分と家族を守る
- 次に隣人をたすける
- 最優先は津波と火災  
クラスターからの避難

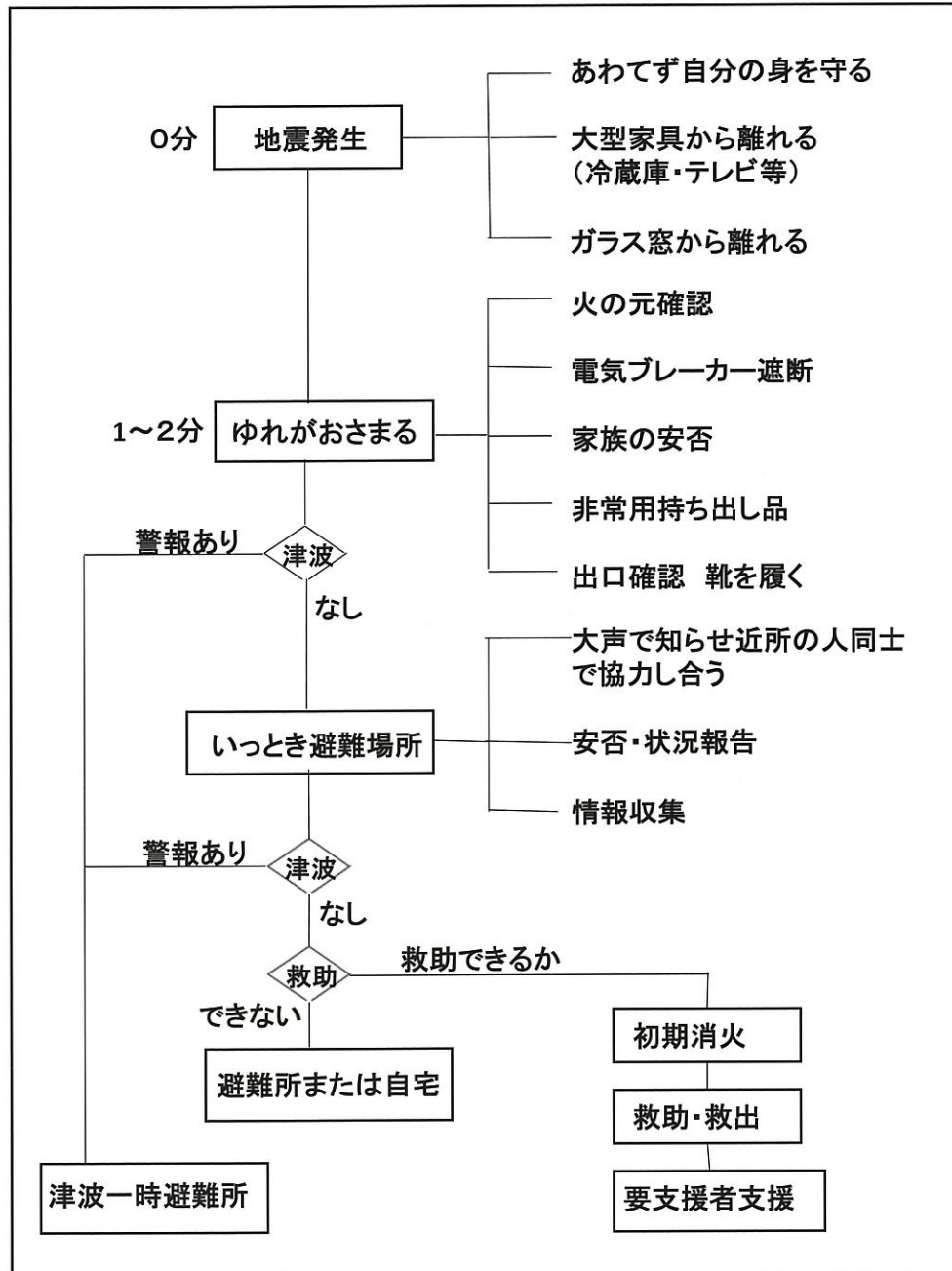
(注1) 津波警報発令中は  
基本的には避難を  
優先させる

(注2) 避難場所の選択は  
状況に応じ、自己  
判断で決める



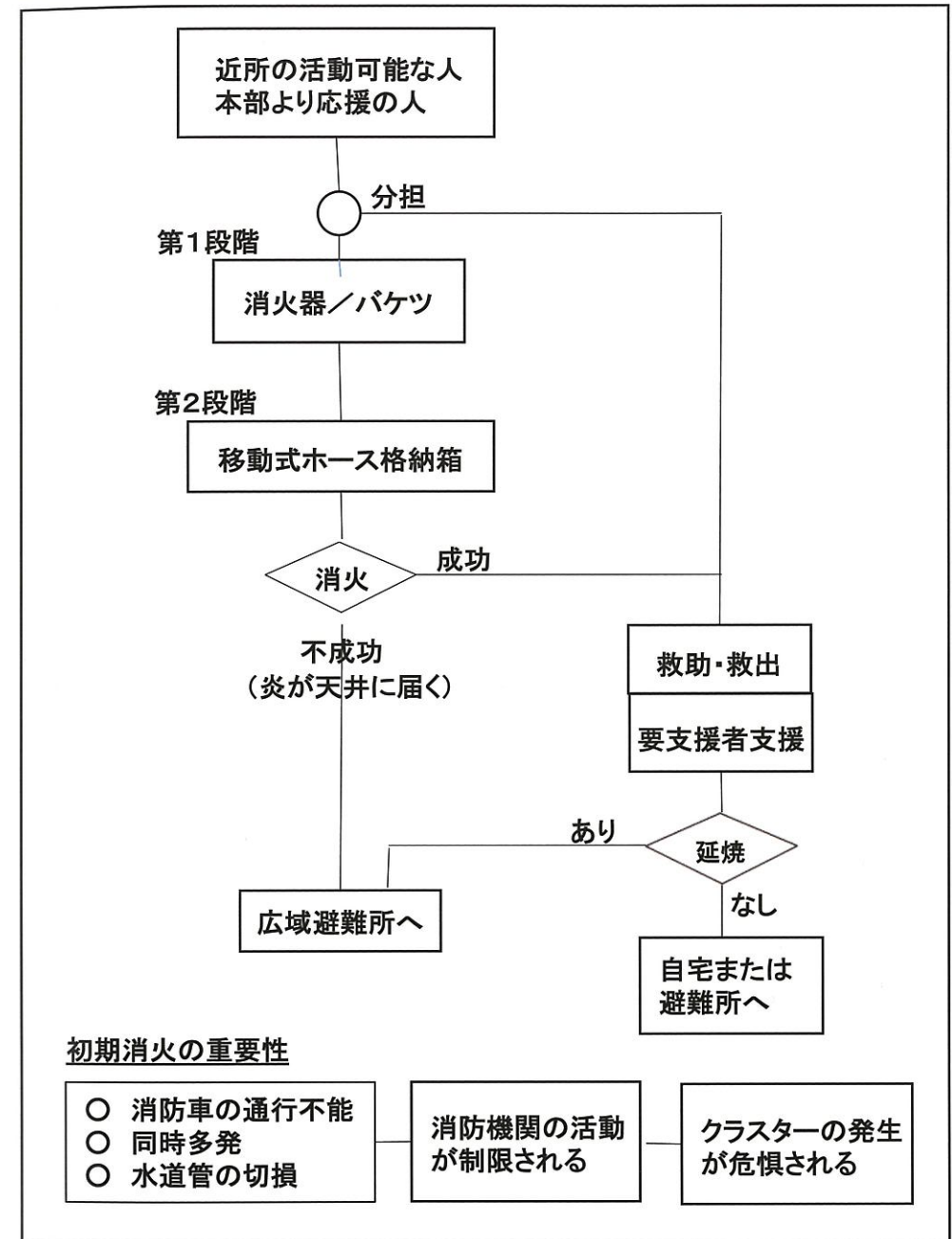
本マニュアルの行動指針は基本形です。有事の状況に応じて、柔軟に自己判断に基づき行動する必要があります。

地震発生時の初期対応



初期消火

通電火災予防 みんなの協力で初期消火



初期消火の重要性

- 消防車の通行不能
- 同時多発
- 水道管の切損

消防機関の活動  
が制限される

クラスターの発生  
が危惧される

## 救助・救出・応急救護

住民の救助・救出活動は最強の減災です



自己判断で やれる人がやる  
+  
防災組織救護班の中のやれる人

自主防災組織は 地域住民の安否確認を行い、家屋の倒壊などにより脱出不能になった人がいる場合は、発見次第速やかに防災用資機材などを活用して 救助・救出活動に取り組みます。また負傷者に対して外傷の応急手当を実施するとともに、医師が必要な場合は、医療救護所(浜須賀中学校)へ搬送します。

- 資機材を有効活用しよう
- 必要と判断した場合は速やかに消防機関への出動要請を行いましょ
- できるだけ周囲の人に協力を求めるとともに、二次災害の防止につとめましょ
- 救出に際し、火災が発生した場合、移動式ホースで火災を制圧しつつ救助活動にあたります。
- 負傷者の応急手当を行い、必要に応じて医療救護所へ搬送します。
- 心肺停止の負傷者は119番通報するとともに、AEDや心肺蘇生法を施します。

阪神淡路大震災時には、自力や家族・隣人等の地域の力で97.5%の人の救出がなされました。

この「地域」と警察・消防・自衛隊等の「行政」の救出には、救出開始時間の速さとマンパワーに決定的な差があります。災害現場で近隣住民同士が協力して救出活動が開始できるため、命のタイムリミットのまえに救出できる可能性が十分にあります。また、地域人口に対して、消防等の救出活動が行える行政の職員数は非常に少ないです。すなわち、「減災」に関して地域住民の救助活動は決定的な意味を持つと言えます。



## 要支援者支援

助け合いの精神で!



救助・救援の可能な人から分担して支援にまわる

- 組内の要支援者世帯に対して積極的に「声かけ」を行い安否確認を行ないます。
- 避難の協力や支援など手助けを必要とするときは、周囲に声かけを行いながら積極的に手を差し伸べる必要があります。
- 避難行動要支援者それぞれの状況に見合った円滑かつ迅速な避難支援をおこなう。
- 災害対策地区防災拠点(浜須賀小学校に設置されます)より名簿提供不同意者の情報が提供されます。(名簿提供同意者情報は組長、民生委員、会長が知っています)  
⇒ 一人でも多くの協力者を集め避難支援
- 避難所および在宅等で生活する避難行動要支援者について必要な支援を継続して行われるように配慮する必要があります。

有事のために要支援者・家族を含めた平時の安否確認・避難訓練への積極的参加が重要です。⇒ 命を守る訓練

## 避難誘導

大きな声で周知徹底、率先避難

避難勧告や避難指示がだされた場合または避難が必要な時には地域住民に対する周知を徹底し、率先して避難をするとともに、迅速かつ円滑に避難誘導を実施します。

迅速・円滑な避難をするためには、地域内へ避難の呼びかけを徹底し避難の必要性を的確に伝え、自らが率先して避難することで、住民の避難を進める必要があります。

火災クラスターが発生した場合には、特に適確な避難経路を選ぶ必要があります。風向き、火災の発生場所等を考慮し、避難誘導を行う必要があります。また、避難する人の状況にも配慮しましょう。



減災活動拠点

減災活動拠点には以下の種類があり、使い分ける必要があります

1 一時(いつとき)避難場所

組を単位とした身近な集合場所  
安否確認等、共助防災活動の  
最小単位として機能

現状:未設定  
暫定:組長宅前  
防災副組長宅前

2 地域防災活動拠点

自治会の自主防災組織の活動  
拠点(本部)になります。地区防  
災拠点(浜須賀小)との連絡機能

現状:未設定  
暫定:菱沼海岸公園  
防災倉庫前

3 災害対策地区防災拠点

市が設置する地区防災拠点で  
避難所、情報収集・伝達機能  
飲料、食糧・物資の分配を行う

浜須賀小学校  
(拠点配備職員が配備  
されます)

4 津波一時退避場所

津波警報が出たとき、一時的に  
避難する場所

ベルビイル  
マリブコート  
浜須賀小学校  
浜須賀中学校

5 広域避難場所

大規模火災時に火熱を避ける  
ために広い場所に避難

ゴルフ場  
浜須賀小学校  
浜須賀中学校

6 避難所

緊急避難とともに 長期にわたる  
避難生活の拠点

浜須賀小学校

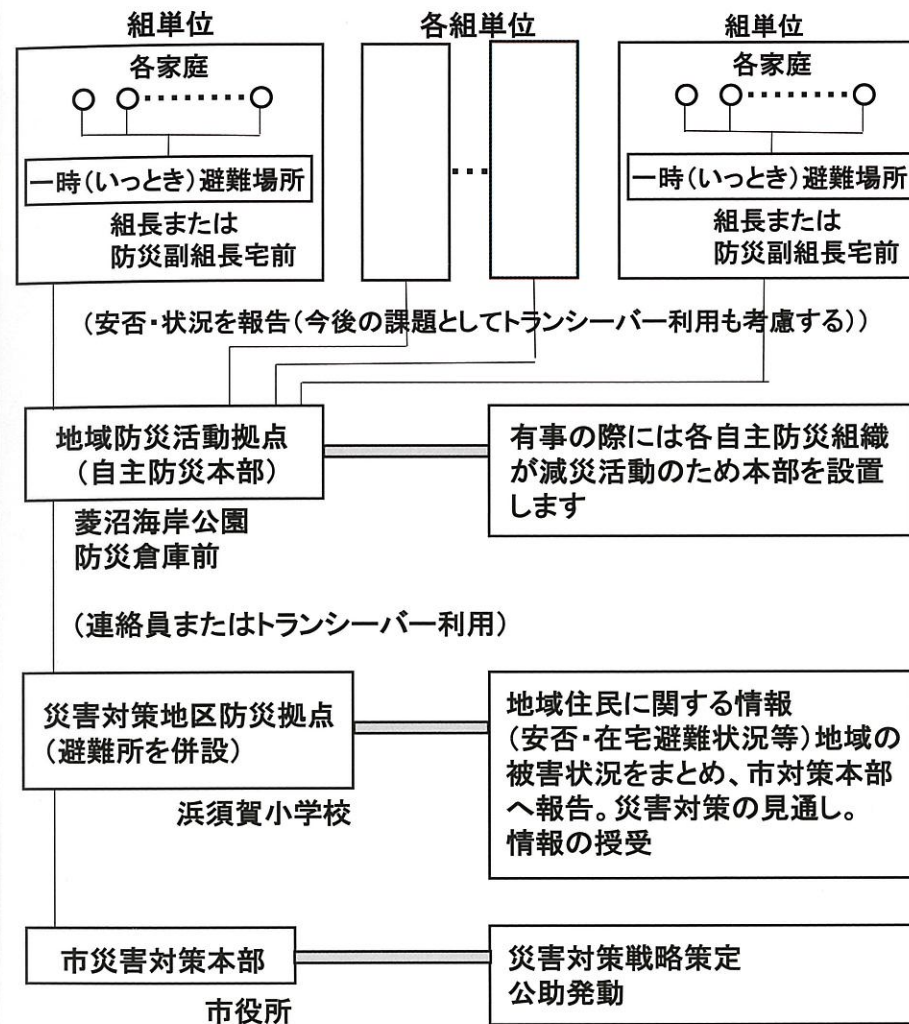
7 医療救護所

災害時に救護所が設置される

浜須賀中学校

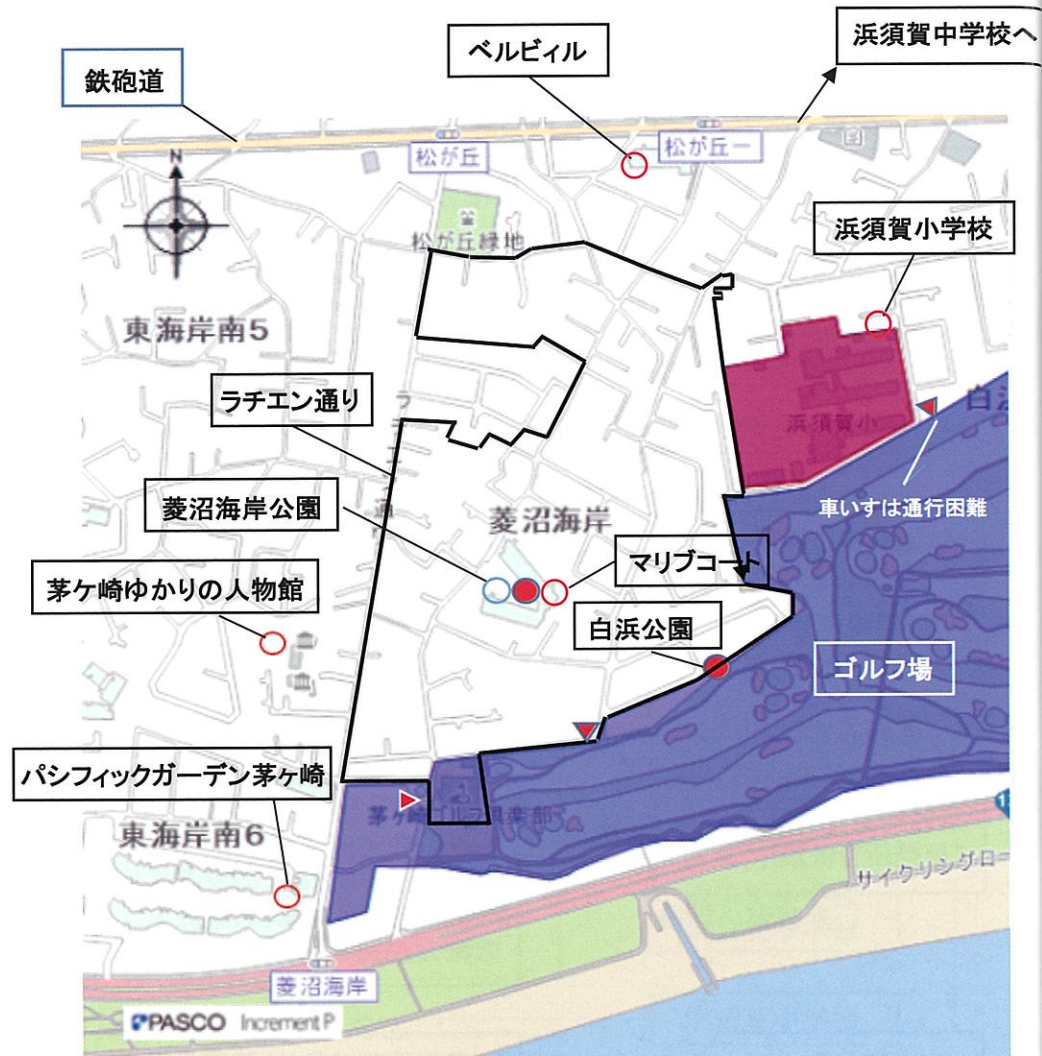
情報・報告の流れ

情報・報告は適確な判断およびつぎの行動を行ううえに必要な不可欠です



防災マップ(避難所)

避難ルートを確認しましょう



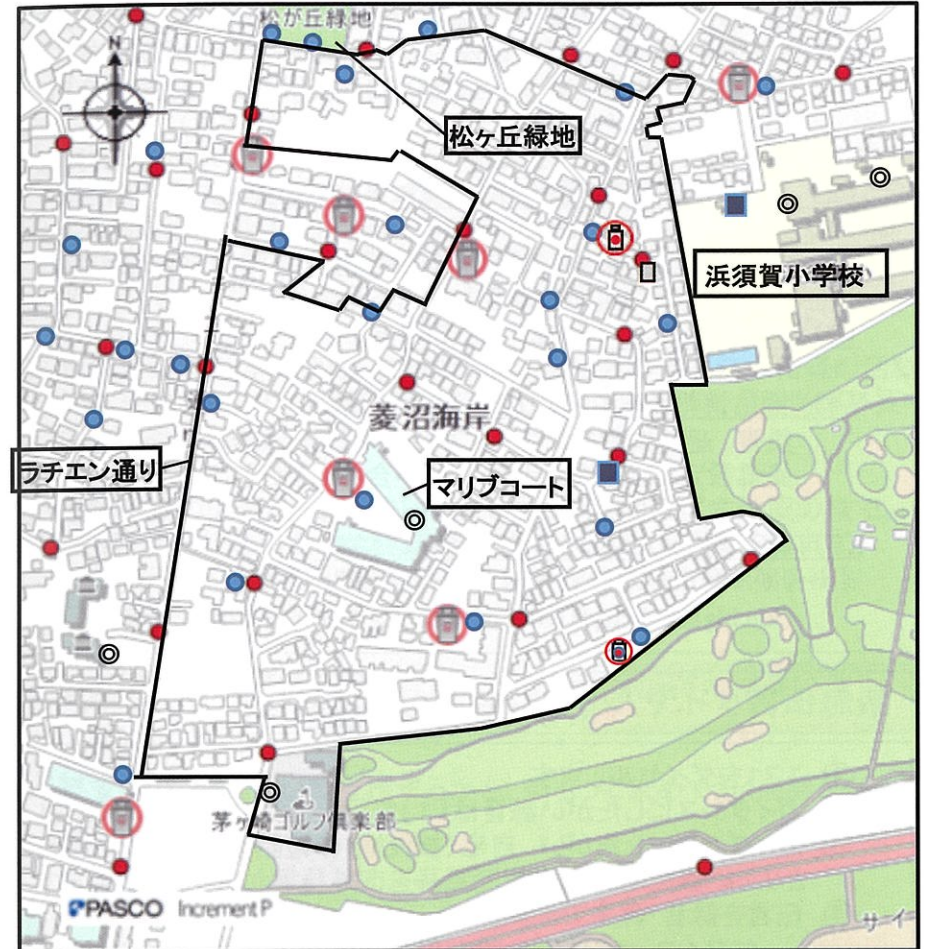
- 避難所  
浜須賀小学校
- 広域避難場所  
浜須賀小学校 ゴルフ場(▲は入り口を示す)  
浜須賀中学校
- 津波一時退避場所  
ベルビイル マリブコート 浜須賀小学校 浜須賀中学校  
パシフィックガーデン茅ヶ崎 茅ヶ崎ゆかりの人物館
- 地域防災拠点  
菱沼海岸公園・防災倉庫前  
菱沼海岸公園 白浜公園
- 防災倉庫  
菱沼海岸公園 白浜公園

(菱沼海岸公園倉庫の鍵は 会長、顧問、公園愛護会長、マリブコート管理事務所  
白浜公園の鍵は 会長、顧問、公園愛護会長 が持っています)

防災マップ(消防水利)

みんなで協力、初期消火

菱沼海岸緑自治会地区の消防水利



- 消火水栓
- 移動式ホース格納庫
- 街頭消火器
- 防火水槽
- ◎ AED設置



**防災行政無線** 正しい情報で適確な判断を！

**(1) 茅ヶ崎市の防災行政無線(街頭スピーカー)**

他の方法でも確認できます。

- ① 防災ラジオ(有償配布)
- ② 防災行政用無線電話応答サービス 0467(82)5555
- ③ tvk(地デジ、データ放送) 3ch リモコンのdボタン
- ④ 茅ヶ崎市ホームページ「茅ヶ崎防災」「防災緊急情報」
- ⑤ ちがさきメール配信サービス(事前登録必要)

**(2) 茅ヶ崎市防災情報サイト(お気に入り登録しましょう)**

[dim2web09.wni.co.jp/chigasaki/mobile/mobile.html](http://dim2web09.wni.co.jp/chigasaki/mobile/mobile.html)  
地震、津波、台風、天気予報、雨量などの情報が得られます

**(3) FM放送 83.1MHz 78.3MHz**

**(4) 緊急情報メール/エリアメール**

災害、避難情報をスマートフォンへ配信/無料、登録不要  
受信設定は、各携帯会社へ問い合わせください

**(5) 茅ヶ崎市のツイッターもご利用ください**

茅ヶ崎市のホームページよりツイッターを選択。  
@chigasaki city(Twitter)(外部リンク)をクリック

**緊急伝言ダイヤル** 家族間の安否確認をしましょう！

- ① 171をダイヤルします
- ② ガイダンスにしたがい録音は「1」を、再生は「2」を押してください
- ③ ガイダンスにしたがい 自宅(被災地)の電話番号または、連絡をとりたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルします
- ④ 伝言を録音・再生できます  
毎月1日、15日は体験利用ができます 171にダイヤルを！

**公共機関の電話番号**

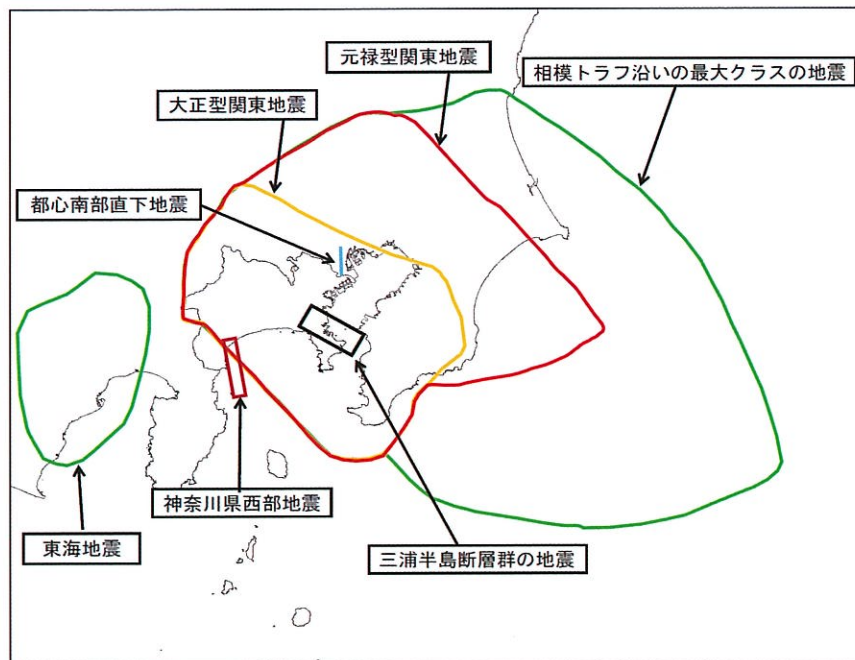
市役所 82-1111 警察 82-0110 保健所 85-1171  
市立病院 52-1111 徳洲会 58-1311  
浜須賀小学校 85-1184 浜須賀中学校 85-1262  
休日夜間急患センター 52-1611

**今後の課題と提言**

- (1) 防災活動/連絡単位を小さくする必要があります。  
30世帯以上の組は、3, 11, 14, 16組です。  
防災副組長の位置づけを明確にして、防災組長と担当範囲を2分する方法もある。その目的は、有事の際の安否確認のための歩行距離を短くする事と、組長の不在時の対応のためです。
- (2) 現在、一時(いつとき)避難場所が設定されていない。有事の際の安否確認を含む共助活動の中心的主体は、組の単位であります。いつとき避難場所はその象徴であり、絆の場であり、不安心理を鎮めてくれる場であり、安否確認や、情報収集の場であります。  
従って、いつとき避難場所を設定する事を提言いたします。
- (3) 地域活動拠点の明確化。有事の際は、自治会の自主防災組織の活動の本部になります。組織的活動をするためには、このような場が必要です。設定することを提言します。
- (4) 連絡手段の改善と連絡先を明確にしましょう。組長に大地震の後で、安否・状況報告のために歩いてこいというのは、無理があります。トランシーバーを利用するなどの連絡手段の改善、合理化を検討する必要があります。
- (5) 要支援者(事前提供不同意者)に、どのように対応すれば良いのでしょうか？
- (6) 要支援者を誰が、いつ支援するかを、前もって決めておく必要があると思います。
- (7) 自主防災組織の規約を作る必要があります。



想定地震



神奈川県近傍において発生が想定される大地震を示します。  
右ページ(23ページ)の「想定被害」に対応いたします。

想定被害

【地震被害想定結果一覧】

		都心南部直下地震	三浦半島断層群の地震	神奈川県西部地震	東海地震	南海トラフ巨大地震	大正型関東地震	元禄型関東地震	相模トラフ沿いの最大クラスの地震	
規模(マグニチュード)		7.3	7.0	6.7	8	9	8.2	8.5	8.7	
震度ランク		5強～6弱	5強～6弱	5弱～5強	5弱～5強	5弱～5強	6強～7	6強～7	7	
建物被害	全壊棟数(棟)	210	20	0	*	20	15,950	16,260	18,900	
	半壊棟数(棟)	2,630	480	50	100	130	13,400	14,470	13,310	
火災被害	出火件数(件)	*	0	0	0	0	80	80	110	
	残出火件数(件)	0	0	0	0	0	50	50	90	
	焼失棟数(棟)	0	0	0	0	0	12,000	12,000	20,170	
自力脱出困難者(人)		450	*	0	0	0	2,870	2,870	4,270	
要配慮者	避難者数(1～3日)	高齢者数(人)	450	80	20	30	30	13,070	13,380	15,520
		要介護3以上(人)	100	20	*	*	*	3,010	3,080	3,570
	避難者数(1ヶ月後)	高齢者数(人)	450	80	*	20	30	10,950	11,010	13,130
		要介護3以上(人)	100	20	*	*	*	2,520	2,530	3,020
人的被害	死者数(人)	(津波含む)	10	*	30	*	*	940	2,660	2,340
		津波	0	0	30	*	*	150	1,870	1,210
	負傷者数(人)	(津波含む)	380	170	10	40	70	6,020	6,380	7,860
		重傷者数	20	*	0	*	*	400	430	560
エレベーター停止台数(台)		180	350	360	380	270	200	180	180	
ライフライン	電力	停電軒数(軒)	110,670	30	110,670	110,670	110,670	110,670	110,670	
	都市ガス	供給停止件数(件)	0	0	0	0	0	64,950	64,950	
	LPガス	容器被害件数(本)	340	0	0	0	0	440	440	
	上水道	断水人口(直後)(人)	3,430	120	*	*	10	229,410	229,410	
	下水道	機能支障人口(人)	7,040	3,890	1,820	2,420	2,660	24,560	24,560	
通信	不通回線数(回線)	82,940	20	82,980	82,980	82,990	85,000	85,070		
避難所避難者数(人)	1～3日後(人)	2,920	530	110	190	230	84,960	87,490	102,420	
	1ヶ月後(人)	1,460	260	30	60	80	35,550	35,760	42,640	
帰宅困難者数	直後(人)	6,390	6,390	6,390	6,390	6,390	6,390	6,390	6,390	
	2日後(人)	0	0	0	0	0	6,390	6,390	6,390	
災害廃棄物(万t)		12	2	*	*	1	427	435	561	



## 非常持ち出し品リスト

家族の状況に応じて事前準備

- 貴重品(現金、通帳類、健康保険証 運転免許証)
- 携帯ラジオ(予備電池含む)
- 懐中電灯(予備電池含む)
- 携帯電話・充電器
- 救急用品(常備薬、お薬手帳、マスク 体温計)
- 予備眼鏡 コンタクトレンズ(洗浄液含む)
- 飲料水 食糧(チョコレート キャンディ等3日分の食糧)
- ティッシュペーパー タオル ウェットティッシュ
- 最小限の着替え 肌着等 歯ブラシ スリッパ
- 携帯トイレ
- 家族の写真

**女性** 生理用品 化粧水 下着等

**妊産婦および乳幼児**

おむつ 離乳食 粉ミルク 哺乳瓶  
バスタオル おしりふき 母子手帳

**障害者**

障害者手帳 補装具 日常生活用品 おむつ等

**高齢者**

介護保険証 介護用品 福祉用品 日常生活用品

**ペットがいる家庭**

名札 愛犬手帳 食器 ケージ リード  
ペットフード トイレ用品

**防災用品**

ビニールシート 手袋 ジャンパ ガムテープ カッター

**あなたの専用リスト**

家族を守り みんなで助け合い 地域の安全を

菱沼海岸緑自主防災会